

こどもたちの未来の為に

～「こどものための図書館」を神戸に～

私は子どもの頃、ろくに本を読むことができませんでした。大人になって、読書の楽しさや、大切さに気が付き、それから多くの本を読んできました。本は心の栄養となり、人生を豊かにしてくれました。それだけに、もっと幼い頃から、絵本や文学に触れることが出来ていればと後悔もしました。

これからの社会を支えていく子どもたちには、出来るだけ多くの本と出会い、豊かな感性を育ててほしいと思います。スマートフォンに触る時間を半分にして、本を読み、考え、そして悩むことで、人生を生きぬく力を身につけて欲しい。そこで、25年前の震災で壊滅的な被害を受けながらも、人々の頑張りによって復興を成し遂げ、美しい街並を取り戻した神戸のまちに、自由に活字文化に触れることのできる、子どもの為の図書館をつくってはどうかと考えました。

あの災害の記憶を風化させず、次代の子どもたちに伝えていくためにも、新しい図書館を役立てて頂ければと思います。

古くから文化の集積地として歴史を刻んできた港町神戸。その土壌の上で、次代を担う、豊かな感性と判断力を持った子どもたちが一人でも多く育ててほしいと願います。

安藤忠雄（建築家）

【計画概要】

主要構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上3階 地下0階（建築基準法）
敷地面積	7,699.01 m ²
建築面積	約 600 m ²
延床面積	約 750 m ²
主な仕上げ	外部：コンクリート打放し仕上げ 内部：木製壁面書架